

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県 日高川町

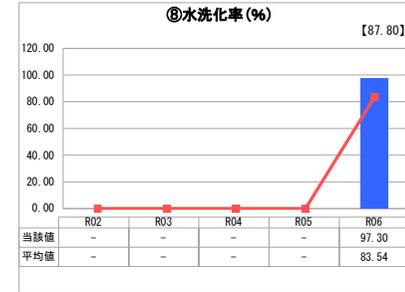
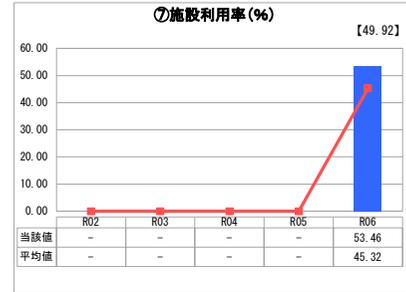
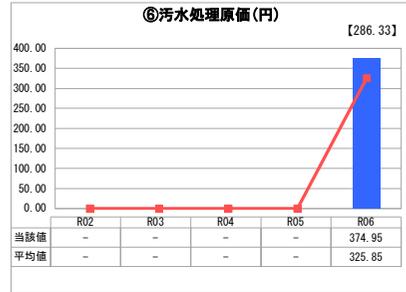
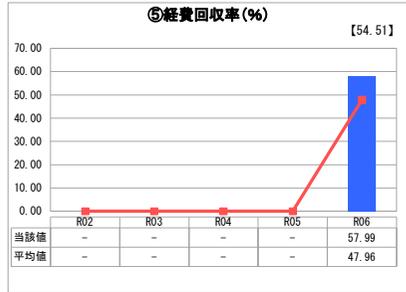
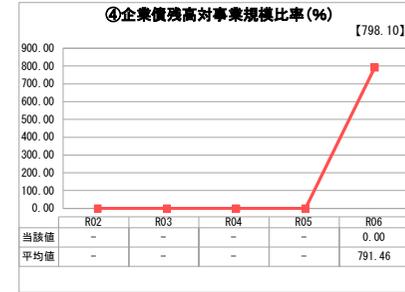
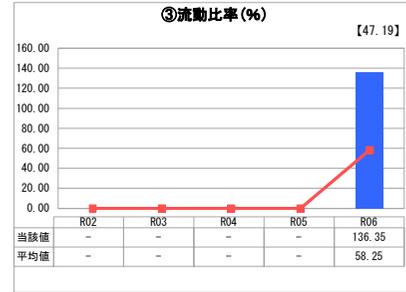
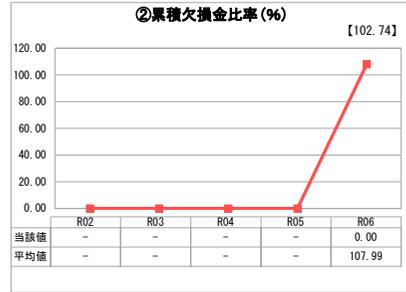
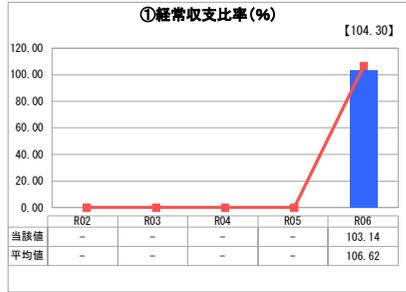
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	自治体職員
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	77.33	31.81	100.00	4,000

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
8,962	331.59	27.03
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
2,820	0.96	2,937.50

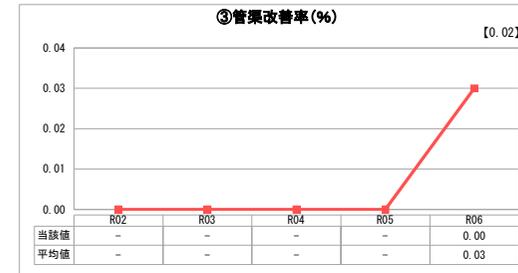
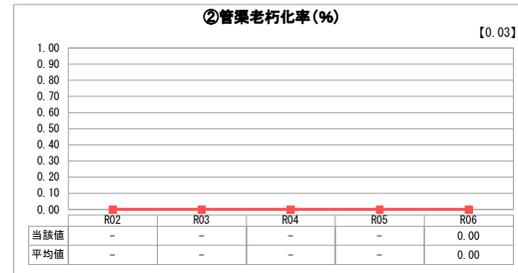
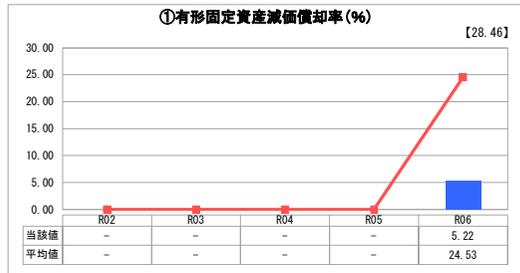
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

下水道会計（農業集落排水）において、昨年度より、法適用化されたが、事実上は何も変わっていない。まだ一年目で、比較は出来ないが、人口の減少は避けられない中、更なる接続率向上の推進及び利用状況の改善を図っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

現在、処理施設及び管渠について、供用開始から20年以上経過している施設が多くなってきており、更新の時期が重なり修繕費用が高ばっております。機能強化対策も活用しながら進めていますが、突発的な故障も多くなってきております。計画的に更新及び修繕を進めていきたい。

全体総括

令和6年度から法適用化されたが、経営収支は赤字経営で今までと何も変わっていない状況である。町全体を見ても人口の減少が見られる。施設の老朽化による更新等に財源の確保が必要とされるため、適正な料金の見直し等検討をしなければならぬ。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。